

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	1004	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	給食調理業務委託事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P123 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑧ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	平成23年度から湯河原小学校の給食調理業務を業者に委託し、児童等に給食を提供するもの。				
対象	湯河原小学校の給食調理				
内容	安全・安心な学校給食の提供体制を維持していくために、学校給食調理業務委託を行うもので、現契約においては、平成26年8月から平成29年7月までの3カ年を(株)レクトンと契約している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	21,945,000	23,414,400	23,630,400		
コスト 人件費	常勤職員	2,594,000	2,683,300	2,539,600		
	非常勤職員等					
	人件費合計	2,594,000	2,683,300	2,539,600		
総事業費	24,539,000	26,097,700	26,170,000			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	24,539,000	26,097,700	26,170,000		
財源合計	24,539,000	26,097,700	26,170,000			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
給食調理	8月を除き実施		月	11	11	11
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	安全・安心に配慮した給食の提供体制を維持している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	日頃より安全管理を徹底していることから、事故等を未然に防ぐ効果がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	児童・生徒の安全・安心が担保されている。

平成26年度までの改善点	各種点検等を徹底し意識を高めることで、安全管理に努めている。
--------------	--------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	安全管理を重点に置きながら、施設の維持管理を徹底する。
平成28年度以降の方向性	給食調理に必要な人材の確保し、給食の質を維持しながら子ども達に安全かつ安心な給食が安定的に提供できるように努める。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	給食調理の委託については、町が正職員を雇用して実施するより、大幅な経費の節減が図れている。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・児童数の減少に伴い、自炊方式から、センター方式への変更など検証するべきと考える。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	350	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	校舎等維持修繕事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P123 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑧ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	学校施設や設備の安全・維持管理を優先順位を決めて実施している。				
対象	湯河原小学校の施設及び設備				
内容	平成25年度は校庭防球ネットフェンス改修、渡り廊下雨漏り改修を実施。平成26年度は校庭用放送設備修繕、児童トイレ転落防止用手摺設置を実施。平成27年度はプール濾過機、体育館外壁タイル撤去・塗装を行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	2,241,750	5,909,760	1,631,000		
コスト 人件費	常勤職員	1,297,000	1,341,600	1,269,800		
	非常勤職員等					
	人件費合計	1,297,000	1,341,600	1,269,800		
総事業費	3,538,750	7,251,360	2,900,800			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,538,750	7,251,360	2,900,800		
財源合計	3,538,750	7,251,360	2,900,800			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	施設の安全・維持管理を実施することで、事故や故障を未然に防ぐことができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	日頃より施設管理を意識していることから、早期発見ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	児童・生徒の安全・安心が担保されている。

平成26年度までの改善点	各種点検業務等における課題や指摘事項等を受けて、優先順位を決めたうえで整備を実施している。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	安全管理を重点に置きながら、施設の維持管理を徹底する。
平成28年度以降の方向性	国の動向を注視し、交付金対象事業等へ迅速な対応ができるようする。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	学校施設の老朽化に伴い、児童・生徒の安全のため、優先順位を定め、維持管理を適正に行っていかなければならない。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	361	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	教科書改訂に伴う指導用図書等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	②③ 小・中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	新しくなる教科書に基づいた、教育指導や学習向上が図られる。				
対象	湯河原小学校の教員				
内容	平成27年度から平成30年度まで湯河原小学校で使用する教科書について、教科書無償措置法に基づき足柄下地区において新たな教科書が選定されたことから、小学校の教師が使用する教科書及び指導書等を改めて整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)		
コスト	事業費			1,806,000		
	人件費			634,900		
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	634,900		
	総事業費	0	0	2,440,900		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	2,440,900		
	財源合計	0	0	2,440,900		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
指導用図書		購入冊数	冊	-	-	159
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	学習指導要領に基づいた適切な指導ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	学習指導要領に基づいた適切な指導ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	各学校において同様の教育指導や学力の向上を図ることができる。

平成26年度までの改善点	各種点検業務等における課題や指摘事項等を受けて、優先順位を決めたうえで整備を実施している。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	新たな教科書の選定がされた場合は、同様に整備を行う。
平成28年度以降の方向性	国の動向を注視し、必要な措置をとる。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	教科書の改訂が4年に1度行われるので、教職員が使用する指導書を教科書に合ったものに更新するもの。(平成27年度は小学校の教科書が改訂され、28年度は中学校の教科書が改訂される。)
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	1005	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	給食調理業務委託事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	03	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P123 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑧ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	平成21年度から吉浜小学校の給食調理業務を業者に委託し、児童等に給食を提供するもの。				
対象	吉浜小学校の給食調理				
内容	安全・安心な学校給食の提供体制を維持していくために、学校給食調理業務委託を行うもので、現契約においては、平成26年8月から平成29年7月までの3カ年を(株)レクトンと契約している。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	21,336,000	22,150,800	23,242,000		
人件費	常勤職員	2,594,000	2,683,300	2,539,600		
	非常勤職員等					
	人件費合計	2,594,000	2,683,300	2,539,600		
総事業費	23,930,000	24,834,100	25,781,600			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	23,930,000	24,834,100	25,781,600		
財源合計	23,930,000	24,834,100	25,781,600			
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
給食調理	8月を除き実施		月	11	11	11
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	安全・安心に配慮した給食の提供体制を維持している。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	日頃より安全管理を徹底していることから、事故等を未然に防ぐ効果がある。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	児童・生徒の安全・安心が担保されている。

平成26年度までの改善点	各種点検等を徹底し意識を高めることで、安全管理に努めている。
--------------	--------------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	安全管理を重点に置きながら、施設の維持管理を徹底する。
平成28年度以降の方向性	給食調理に必要な人材の確保し、給食の質を維持しながら子ども達に安全かつ安心な給食が安定的に提供できるように努める。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	給食調理の委託については、町が正職員を雇用して実施するより、大幅な経費の節減が図れている。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・児童数の減少に伴い、自炊方式からセンター方式への変更など検証すべきと考える。

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	940	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	校舎等維持修繕事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	03	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P123 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑧ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	学校施設や設備の安全・維持管理を優先順位を決めて実施している。				
対象	吉浜小学校の施設及び設備				
内容	平成25年度は消防用設備改修、プールろ過機用ポンプ等取替を実施。平成26年度は北棟転落防止柵設置、非常放送設備改修を実施。 平成27年度は消火栓設備の敷設替えを行う。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)		
	事業費	2,202,060	697,826	3,402,000			
コスト	人件費	常勤職員	1,297,000	670,800	1,269,800		
		非常勤職員等					
	人件費合計	1,297,000	670,800	1,269,800			
総事業費	3,499,060	1,368,626	4,671,800				
財源内訳	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源	3,499,060	1,368,626	4,671,800			
財源合計	3,499,060	1,368,626	4,671,800				
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値	

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	施設の安全・維持管理を実施することで、事故や故障を未然に防ぐことができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	日頃より施設管理を意識していることから、早期発見ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	児童・生徒の安全・安心が担保されている。

平成26年度までの改善点	各種点検業務等における課題や指摘事項等を受けて、優先順位を決めたくうえで整備を実施している。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	安全管理を重点に置きながら、施設の維持管理を徹底する。
平成28年度以降の方向性	国の動向を注視し、交付金対象事業などに迅速な対応ができるようにする。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	学校施設の老朽化に伴い、児童・生徒の安全のため、優先順位を定め、維持管理を適正に行っていかなければならない。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	377	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	教科書改訂に伴う指導用図書等整備事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	03	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	②③ 小・中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	新しくなる教科書に基づいた、教育指導や学習向上が図られる。				
対象	吉浜小学校の教員				
内容	平成27年度から平成30年度まで吉浜小学校で使用する教科書について、教科書無償措置法に基づき足柄下地区において新たな教科書が選定されたことから、小学校の教師が使用する教科書及び指導書等を改めて整備する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費			2,540,000	
	人件費	常勤職員		634,900	
		非常勤職員等			
		人件費合計	0	0	634,900
	総事業費	0	0	3,174,900	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	3,174,900	
財源合計	0	0	3,174,900		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
指導用図書	購入冊数	冊	-	-	190
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	学習指導要領に基づいた適切な指導ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	A	学習指導要領に基づいた適切な指導ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	A	各学校において同様の教育指導や学力の向上を図ることができる。

平成26年度までの改善点	各種点検業務等における課題や指摘事項等を受けて、優先順位を決めたくうえで整備を実施している。
--------------	--

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善(実績または予定)	新たな教科書の選定がされた場合は、同様に整備を行う。
平成28年度以降の方向性	国の動向を注視し、必要な措置をとる。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	教科書の改訂が4年に1度行われるので、教職員が使用する指導書を教科書に合ったものに更新するもの。(平成27年度は小学校の教科書が改訂され、28年度は中学校の教科書が改訂される。)
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	1149	担当部課	教育部学校教育課							
事務事業名	体育関連設備整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P123 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑧ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	学校施設や設備の安全・維持管理を優先順位を決めて実施している。				
対象	中学校の施設及び設備				
内容	中学校グラウンドネット改修工事、中学校体育器具庫設置工事				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費			5,412,000	
	人件費	常勤職員		1,269,800	
		非常勤職員等			
		人件費合計	0	0	1,269,800
	総事業費	0	0	6,681,800	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	6,681,800	
財源合計	0	0	6,681,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	施設の安全・維持管理を実施することで、事故や故障を未然に防ぐことができる。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	日頃より施設管理を意識していることから、早期発見ができる。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	児童・生徒の安全・安心が担保されているとともに、利便性の向上を図っている。

平成26年度までの改善点	各種点検業務等における課題や指摘事項等を受けて、優先順位を決めたうえで整備を実施している。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	安全管理を重点に置きながら、施設の維持管理を徹底する。
平成28年度以降の方向性	安全に配慮した各種点検業務等を引き続き行い、優先順位を決めたうえで整備を実施していく。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	体育の授業及び部活動の利便性を図るため、実施するものであり、設置により事業は完了となる。
------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	・平成27年度で完了。
------	----	-------------

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	398	担当部課	教育部学校教育課								
事務事業名	生徒派遣事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P122 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	③ 中学校教育の充実
関連する個別計画					
目的	運動部及び文化部等の大会に参加する生徒の交通費の一部を派遣費として補助したものの。				
対象	湯河原中学校の生徒				
内容	部活動における各種競会等への参加機会は多く、競技会場までの交通費等については個人の負担となっているが、その負担も大きいため一部を助成し、生徒のスポーツ・文化活動の活発な取り組みを支援する。				

2 実施結果

(単位 円)

区分	平成25年度(決算)		平成26年度(決算)		平成27年度(見込)	
	事業費	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000	1,500,000
人件費	常勤職員	648,500	670,800	670,800	634,900	
	非常勤職員等					
	人件費合計	648,500	670,800	670,800	634,900	
総事業費	2,148,500	2,170,800	2,170,800	2,134,900	2,134,900	
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	2,148,500	2,170,800	2,170,800	2,134,900	
財源合計	2,148,500	2,170,800	2,170,800	2,134,900	2,134,900	
活動指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値
生徒派遣	部活動		部	12	14	14
成果指標	指標設定の理由・考え方		単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評 価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)		
必 要 性	町が実施する必要があるのか	A 学校設置者である町が部活動に関わる生徒の支援を実施する必要がある。
効 率 性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A 生徒のスポーツ・文化活動の活発な取り組みの一助を担っている。
有 効 性	事業の目的に対して成果が得られているか	B 部活動に関わる支援となっており、一定の効果はでている。
公 平 性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B 部活動の種類により、差はあると考えるが全体的な支援としては均衡が図られている。

平成26年度までの改善点	各部活動への支援については、学校に依頼している。
--------------	--------------------------

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	各部活動に広く分配できるよう学校における調整をお願いしている。
平成28年度以降の方向性	生徒のスポーツ・文化活動の活発な取り組みに向けて、引き続き支援を続けていきたい。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	生徒のスポーツ・文化活動の支援を継続していく。
------	----------	-------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

平成27年度事務事業評価シート

平成27年 月 日作成

事業番号	1187	担当部課	教育部学校教育課							
事務事業名	中学校プール等撤去事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	05	目	01	事業開始年度	平成 27 年度

1 事業概要(平成27年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策
P123 ゆがわら2011プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び 豊かな心を育むま ちづくり	I 生涯学習の推進	3 学校教育	(1) 小・中学校教育の 充実	⑧ 教育施設・設備・整備 の推進
関連する個別計画					
目的	学校施設や設備の安全・維持管理を優先順位を決めて実施している。				
対象	中学校の施設及び設備				
内容	既存プールの解体・撤去工事				

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成25年度(決算)	平成26年度(決算)	平成27年度(見込)	
コスト	事業費			16,956,000	
	人件費	常勤職員		2,539,600	
		非常勤職員等			
		人件費合計	0	0	2,539,600
	総事業費	0	0	19,495,600	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	19,495,600	
財源合計	0	0	19,495,600		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値
プール撤去数		件			1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	平成25年度	平成26年度	目標値

3 平成26年度までの事業分析及び改善点

評価 3段階とその理由を記入(A:高い B:普通 C:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	A	学校設置者である町が実施する必要がある。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	A	施設の安全・維持管理を実施することで、事故や故障を未然に防ぐことができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	B	施設購入の際の条件として付されているため実施する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	B	施設購入の際の条件として付されているため実施する。

平成26年度までの改善点	各種点検業務等における課題や指摘事項等を受けて、優先順位を決めたうえで整備を実施している。
--------------	---

4 見直し及び改善

平成27年度の見直し及び改善 (実績または予定)	安全管理を重点に置きながら、施設の維持管理を徹底する。
平成28年度以降の方向性	平成27年度で終了。

5 一次評価(平成28年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	プールを撤去することにより事業終了となる。 (神奈川県から現施設を取得する際の覚書による)
------	----	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

・特になし

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	・平成27年度で完了。
------	----	-------------